



Innovation for the Rotary club ロータリーに新風を 2012年10月のロータリーレートは 1ドル=80円

パストガバナーからの手紙 炭谷亮一 10月25日用

「ロッキード事件から見えてくるもの」～虚構としての戦後デモクラシー～

ロッキード事件ほど戦後デモクラシーの虚妄性をみせたものはない。この事件の本家本元であるアメリカにおける当時の大統領リチャード・ニクソン追放と比較するとよくわかる。「ウォーターゲート事件」のニクソン告発の口火を切ったのは名もない二人のジャーナリストであり、彼を追い詰めて辞職にまで追い込んだのは、ジャーナリズムと議会であった。始めから終わりまでアメリカン・デモクラシーの制御機構は有効に作動し続けた。

一方日本においてこの事件における事情は根本的に異なっていた。事件の発端は、アメリカ上院という、いわば日本にとっては全く外生的場所においてである。この偶発的な幸運がなければ、この事件は永久に日の目を見ることなく、政界の黒幕は悠々と安住し、政府高官も大きな顔をして闊歩していたであろう。

ロッキード事件などはほんの氷山の一角に過ぎず、政界の腐敗は、もっと大規模に、もっと根深く、もっと用心深く進行しつつあるという印象をぬぐいきれない。そして将来この種の事件が起こっても、よほど偶然な幸運がなければ、それは永久に暴かれることはないかも知れない。日本の議会とジャーナリズムのこの事件に対する追求は、せっかく証人喚問を行ったにもかかわらず、国会議員達の法的技術力の不足から、確固とした証言を引き出せず、いとも簡単に追求をかわされ、はぐらかされたと言うのが事実である。それ以降議会において見るべき調査はほとんど行われなかった。

議会にせよ、ジャーナリズムにせよ、結局はアメリカからの資料待ちというのはいったいどういう料簡なのか、どこの国の汚職事件なんだろうと言いたい。この様な時、日本では言い訳として持ち出されるのが、制度上の制約があり、又、慣行上の制約があり、どうすることも出来ないと言う情けない言葉だ。具体的にはアメリカではそうになっているかも知れないが、日本では、そんな上手い具合にはゆかないのだと言いたいのである。

ここに私は日本のデモクラシーの1つの虚妄性を見る。近代デモクラシーが基礎をおくところの行動様式の特徴は、制度を天然現象のごとき所与と見ずに、人間によってつくられた人為の所産である、と見ることにある。人間の作為の所産であるから、これを人間の行動によって変えることは可能であると、考えられる。制度も法律も慣行もそして憲法さえも社会の機能的要請に基づいて変更し、あるいは新解釈を与えることが可能なのである。ゆえにニクソン大統領の追放劇などという前例のないことがアメリカでは可能であった。「前例がないから困難」「それは制度的に不可能」などと言っていた日には、アメリカの独立もフランス革命もあり得なかったであろう。私達日本人は優れた人種ではあるが制度や慣行や法律もひいては憲法さえ変える必要がある時には、国民の過半数の合意のもと、変えるという真のデモクラシーを持ち合わせていない!!

従って多くの国民の「権力は腐敗する。絶対権力は絶対腐敗する」という認識、そして「政治とはより少なく悪しきもの選択である」という認識の希薄さを私は心配している。

クラブ例会予定 2012-2013年度

10/18	宮本 美奈子様(セルフマネジメントオフィス RIRE)
10/25	峰晴 忠行様(大塚製薬)
11/1	高木 進様
11/8	柳生 好春様(野々市 RC)

2012～2013

(役員) 会長：北山吉明 エキ：野城 勲 副会長：宮永満祐美 幹事：川きみよ 副幹事：上杉輝子

直前会長 会計：西村邦雄

(理事) クラブ管理運営委員長：村田祐一 副：相良光貞(親睦：金沂秀 プログラム：若狭豊

SAA：上杉輝子 ニコニコ：井口千夏 友好・クラブ細則：魏賢任)

奉仕プロジェクト委員長：竹田敏一郎 副：後出博敏(職業：土田初子 社会新世代：武藤清秀

国際：宮永満祐美 ラスプロジェクト：岩倉舟伊智)

会員組織委員長：二木秀樹 副：江守巧 会員増強修練：金沂秀

ロータリー財団委員長：藤間勸菊 副：東海林也令子(ロータリー財団・米山：藤間勸菊 年次寄付：北山吉明)

広報委員会委員長：吉田昭生 副：江守道子(広報：谷伊津子 ロータリー情報：木場紀子

会報：石丸幹夫) 常任理事：石丸幹夫

★太字：理事役員

長期姉妹クラブ担当 南光州：金 石丸 岩倉 江守巧 村田 東京世田谷中央：炭谷 岩倉 石丸 木村幸生 藤間

京都北東：炭谷 杵屋 水野 高崎：石丸 村田 藤間 宮永

例会場 ホテル日航金沢 5F 〒920-0853 金沢市本町 2-15-1 T076-234-1111 例会日時 木曜日 19：00

事務室 ライブ1ビル 2F 〒920-0852 金沢市此花町 3-2 T076-262-2211 F076-262-2241 (事務局) 阿原美和

E-mail khrc@quartz.ocn.ne.jp ホームページ URL http://www17.ocn.ne.jp/~hrc/

事務局執務時間 月火水金 9：00～15：00 木 9：00～12：00、17:30～20:00 休憩時間 12：00～13：00

休日(土日祝日) 幹事 川きみよ 090/9766/6666 副幹事 上杉輝子 090



例会優り

672 回

ホテル日航金沢 5F

2012 10.18 (木) 19:00

例会出席率 18/35 51.43 %

9 月修正出席率 72.33%

点 鐘

SONG 「ROTARY」

四つのテスト

会長 挨拶： 岩手県に畜産業者が、出荷しているハンバーグに含まれているセシウムの量を表示しました。セシウム量は政府が安全と規定している 100 ベクレル/kg を大きく下回った 11 ベクレルで



ある。それでもこの商品は小売業者から拒否され、周囲の畜産業者からも余計なことをしたと避難された、ということ。この畜産業者は、今まで安心して食べられる食物を追求してきた中で、例え少量であっても、これを隠すことは消費者を騙すことになる、と、あえて正直に表示をしたといいます。知る権利と、知らない方が幸せという 2 つの考えがあることは、政治や医療の世界を始めとして我々の環境に満ち溢れています。しかし、今回の原発事故に関しては、少なくとも知らないで得られる幸せは、後に大きな不幸をもたらす前触れと考えるべきである。正しくは、何故ハンバーグにセシウム含まれているのか、その原因を解決しなければいけない、ということまで考えが及らなないと、ただの毒入りハンバーグのイメージだけが残ってしまうからです。人が受け入れられないものには訳がある。その訳を考えつくすことにより、受け入れられないものが受け入れられるものに変化することがある、考えることが人に与える恩恵とはその部分をさすと思う。

ゲスト紹介： (卓話者) セルフマネジメントオフィス R I R E (リール) 宮本 美奈子 様
(米山奨学生) 郭 菫 様 奨学金の支給

ビジターの紹介： なし



郭 菫 様(米山奨学生)：東京大学の入学の許可がきました。今週輪島 RC で卓話をしましたが、皆様しんげんに聞いて下さいました。来月またここにまいります、よろしくお願ひいたします。

《食 事》

幹事報告・委員会報告



- ① マナーをよくするかなざわ市民会議より「かなざわエコフェスタ 2012」のご案内
10/28(日)10時～16時 金沢市民芸術村にて
- ② 2015-2016 年度ガバナー・ノミネー候補の告知について
柳生好春氏 (野々市 RC) 異議申し立て期日(10/28)まで
- ③ 金沢香林坊 RC の創立 25 周年記念例会が H25.2.2 にあります
- ④ 「いか人参」の紹介：金沢に避難している福島のママたちに福島郷土料理を作ってもらいました



ニコニコ Box ¥3,000- 本年度 ¥209,000- 残高 ¥4,286,216-

北山会長：いつも美味しいお菓子ありがとうございます。本日の卓話よろしくお願いします。

上杉会員：宮本様ようこそ、いらっしやいませ。いつも大変お世話頂いているとのこと、ありがとうございます。炭谷会員：宮本様、今夜はようこそ。卓話楽しみにしています。



講話の時間

宮本 美奈子 様

セルフマネジメントオフィス R I R E (リール)

【経歴】

平成 6 年に正看護師を取得。精神科病院、看護学校教務、ユニ・チャーム株式会社、介護施設(有料老人ホーム、デイサービス)等の勤務を経て、平成 22 年 4 月に「セルフマネジメントオフィス RIRE (リール)」を起業。現在はデイサービス及び訪問入浴事業所にて週 1 ～ 2 回程度臨床ナースとして勤務をしながら、セミナー講師やメンターとして活動中。



【その他活動】

東日本大震災後、宮城・岩手・福島と被災地支援活動を実施。

活動終了後は金沢市内にてこれまで 10 回「被災地支援活動報告会」を開催。

これまで 200 名以上の方々に、現地の状況や今後の支援活動について報告。

2011 年 8 月に「光を届ける石川の桜プロジェクト」というチームを結成し、現在は仮設住宅住民や石川県内に避

難している方々への支援活動及び、経済復興に向けての活動等を継続している。2012年8月末に「NPO 法人災害支え愛ネットワークさくら」として新たに活動展開中。



講話：「災害からの学びを実践に活かす～いま本当に必要なモノ～」

被災地で活動御、何度も開催した活動報告会がきっかけになり、共感を得て仲間が増え 23年8月に「光を届ける石川の桜プロジェクト」を結成しました。

是まで ①被災地の方々との交流②広域避難者との交流③イベントでの東北物産販売④情報発信（報告会・講演会）などをしましたが、 ①誰のための支援か ②顔

の見える支援 ③寄り添い共に歩む事④支え愛（支え合い+愛情） 今本当に必要なものは 人の生きるチカラを支えるもので 支え愛の関係創りであって、是は災害に強い地域作りです。

これからの課題は ①発信力 心に「伝わる」「響く」表現で ②つなぐ 「協力」は「強力」を生みだす。③魅力ある法人・活動理念 会員にさくらのファンに！なって欲しい。

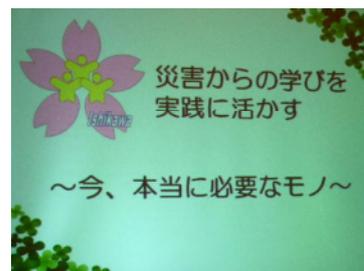
特定比営利法人 災害支え愛ネットワークさくらは 正会員・賛助会員を募集しています。

コミュニティ創り： 東北から住まいを移された御家族をお誘いしてお茶会を開催。この地域で多くの友人囲まれ、安心して生活出来る様な、お互いに楽しめる企画です。

リジナル企画：復興支援活動を通じて被災地で知り合った仲間や土地の食材と石川の食材をコラボした「福幸鍋」を企画、沢山の来場者に振る舞わせていただきました。」

企業・学校での講演活動：被災地の現状や住民の生の声、活動を通じての気づき、学びを伝えることで、日本全体が経験した震災を風化させず、「心」の人材育成に繋がる活動に取り組んでいます。

県内イベントに参加：東北支援活動の一環としてミニ東北物産ブース等県内イベントに参加！知事や市長も激励に来ていただきました。



質疑応答 . 会長より謝辞・謝礼

3710 地区南光州 RC マッチンググラントについて 地区交流の難しさ 石丸幹夫



10年以上前に2回韓国 3710 地区の南光州 RC と金沢百万石 RC のマッチンググラントが行われておりましたが、地区も入れての行動は初めてです。と言いますのは既に 10 年前から韓国の 3710 地区とこちらの 2610 地区は姉妹提携をしまして、韓国からは 11 名のガバナーやエレクト、ノミニの方々の訪問されています。2610 地区からはそれよりは少ないのですが、5 名が訪問しています。姉妹交流の約束行事としては「会員の交流の他、青少年交流、文化スポーツ交流、マッチンググラント」等をうたっていますが、地区としては地区大会にガバナーがお義理に行ったりったり来たりするぐらいで何にもしていないうちに、炭谷年度の前に両地区のガバナーで 3 年間交流を休む約束までされてしまい（あれほど地区提携を立ち上げるための努力もむなしく、やめるのは簡単ですね）、今では本当に低調な流れになりました。しかし 3710 地区には熱心な方もいて、こちらからは何にもしないからか、今回マッチンググラントの提案をされました。しかし、今ではこれを支持するのは南光州 RC と金沢百万石 RC のみで 姉妹クラブの光州忠壮 RC を持つ富山西 RC や両地区全体にも低調な様です（これにはスタートから富山西と金沢百万石の連携プレイを固める必要があった様です。南光州 RC 自体も独走の感があります。もっと光州忠壮 RC と組んでほしかった）。則ち 富山西 RC に所属する地区役員の方も 3710 地区と 2610 地区の積極的交流は全然考えておらないのか、両地区のつき合いの予算は全然組んでない様です。姉妹地区交流と言っても金沢百万石と南光州とのつき合いのみで終わっています。2610 地区の 2000 ドルは不可能ですね。色々手をつくしてみますが？ ロータリーとしては反対する理由もなく、まじめでいい話ですが、韓国の話しには多くの会員がなかなかのってくれないのが現状で、悩みです。結局、不足分は炭谷パスガバナーか有志のポケットマネーをあてにするしかありません。

点 鐘

E-mail : nam-gwangju@hanmail.net

こんにちは。私たちのクラブとマッチンググラント プロジェクトに共にして下さって感謝申し上げます。
 マッチンググラント書類を検討して、署名された後また南光州（クァンジュ）ロータリークラブ メールに送られれば
 感謝します。E-mail:nam-gwangju @ hanmail.net

マッチンググラント提案書

- 1.プロジェクト内容：プロジェクト場所は和順郡（ホァスンゴン）と長城郡（チャンソンゴン）は農村地域として
 老人層がたくさん住んでおり、彼らは定期的にぜい弱な反面、慢性疾患者が多い。しかし彼らを世話する保健所は
 彼らが必要とする医療機資材が不足した現実である。このような不足した機資材中、一部でも南光州（クァンジュ）
 ロータリークラブで用意してみたプロジェクトの主な事業内容である。
- 2.プロジェクト施行場所：大韓民国,和順郡（ホァスンゴン）と長城郡（チャンソンゴン）の保健所に医療機支援
- 3.ホストクラブ/地区：南光州（クァンジュ）ロータリークラブ(クラブ ID 16825) / 3710 地区(大韓民国)
 -クラブ会長:金ヒボン 010-3603-1509 -クラブ国際奉仕委員長 010-9605-6484
- 4.パートナークラブ/地区：金沢百万石ロータリークラブ/ 2610 地区(日本)
- 5 プロジェクト予算：ホスト パートナーロータリークラブ国際パートナーロータリークラブ
 南光州（クァンジュ）RC \$1,000 金沢百万石 RC \$1,000 3710 地区(DDF) \$2,000 2610 地区(DDF) \$2,000
 ロータリー財団(TRF) \$5,000 総予算\$11,000

Budget item 予算案	Name of supplier	Amount
Reflizerlator for drugs and Vaccines 冷蔵庫	Samho equipment	w 7,000,000
Warm bed matt 温熱ベッドマット		w 1,485,000
Massage chair マッサージ椅子		w 1,720,000
foot massage 足マッサージ器		w 1,400,000
electricity stimulator 電気刺激器		w 550,000
ultrared electric machine 赤外線治療器		w 495,000

w 12,650,000
US\$1=1,150
\$11,000

仲谷純三パストガバナーを偲んで「ゆずり葉の会」



金沢百万石 RC 創立に
 尽力された仲谷純三パ
 ストガバナーは昨年 10 月
 なくなりましたが、そ
 の特の分区代理（今のガ
 バナー補佐）と幹事で「ゆ
 ずり葉の会」を作り、家
 族ぐるみで毎年旧交をあ

たためて来ました。

会員は現在 仲谷夫人、水橋（滑川 RC）、
 福島（越中八尾 RC）、上田（高岡万葉 RC）、
 武田（能登 RC）、前山（七尾 RC）、石丸（金
 沢百万石 RC）

今回は 10/20 粟津温泉 法師旅館で会合した
 後、10/21 には仲谷宅へ行き、仏前にお参りし、
 安宅の「まつや」で昼食をとりました。

